



## 2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月12日

上場会社名 株式会社クラレ 上場取引所 東  
 コード番号 3405 URL https://www.kuraray.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 正明  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 (氏名) 植垣 文雄 (TEL) 03-6701-1070  
 I R・広報部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 2020年9月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	262,006	△8.8	19,611	△29.8	17,638	△28.5	9,160	△30.9
2019年12月期第2四半期	287,419	△4.6	27,921	△23.0	24,685	△28.6	13,254	△41.3

(注) 包括利益 2020年12月期 第2四半期 △504百万円( - %) 2019年12月期 第2四半期 1,256百万円(△87.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	26.64	26.62
2019年12月期第2四半期	38.16	38.10

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	1,083,789	532,282	47.7
2019年12月期	991,149	538,545	53.0

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 517,189百万円 2019年12月期 525,151百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	20.00	—	22.00	42.00
2020年12月期	—	21.00			
2020年12月期(予想)			—	19.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	510,000	△11.4	33,000	△39.1	29,000	△39.9	13,000	—	37.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	354,863,603株	2019年12月期	354,863,603株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	10,939,263株	2019年12月期	11,130,834株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	343,835,380株	2019年12月期2Q	347,356,017株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年1月1日~2020年6月30日)における世界の経済環境は、新型コロナウイルス感染の拡大に歯止めがかからず、景気の後退が一段と浮き彫りとなりました。このような状況下、当社グループは、産業のサプライチェーンを支えるべく、安全の確保と感染防止策の徹底を行った上で事業活動を継続してまいりました。その結果、当連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は前年同期比25,412百万円(8.8%)減の262,006百万円、営業利益は8,310百万円(29.8%)減の19,611百万円、経常利益は7,047百万円(28.5%)減の17,638百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,093百万円(30.9%)減の9,160百万円となりました。

当社グループは長期ビジョン「Kuraray Vision 2026」のありたい姿として「独自の技術に新たな要素を取り込み、持続的に成長するスペシャリティ化学企業」を掲げています。引き続き、ありたい姿の実現に向け、中期経営計画「PROUD 2020」の戦略に沿った具体的施策の実行を通じ、新たな事業ポートフォリオ構築に取り組んでまいります。

## [ビニリアセテート]

当セグメントの売上高は121,809百万円(前年同期比9.6%減)、営業利益は16,924百万円(同26.7%減)となりました。

- ① ポバール樹脂は、世界的な需要の低迷により、数量が減少しました。光学用ポバールフィルムは、液晶パネルメーカーによる在庫調整は一段落しましたが、コロナ禍の影響で前年同期並みの出荷に留まりました。PVBフィルムは、建築向け、自動車向けともに低調でした。一方、水溶性ポバールフィルムは、引き続き、個包装洗剤向けの販売が拡大しました。
- ② EVOH樹脂<エバール>は、食品包材用途で販売量が増えましたが、ガソリントank用途は自動車生産台数減少の影響を大きく受けました。

## [イソブレン]

当セグメントの売上高は24,720百万円(前年同期比9.9%減)、営業利益は2,116百万円(同38.6%減)となりました。

- ① イソブレン関連は、ファインケミカル及び熱可塑性エラストマー<セプトン>ともに、主に中国、アジアにおいて需要減速の影響を受けました。
- ② 耐熱性ポリアミド樹脂<ジェネスタ>は、電気・電子デバイス用途は堅調に推移しましたが、自動車用途は生産台数減少の影響を受けました。

## [機能材料]

当セグメントの売上高は59,143百万円(前年同期比5.5%減)、営業利益は1,054百万円(同52.4%減)となりました。

- ① メタクリルは、飛沫飛散防止用仕切板の需要は増えてきましたが、事業全体では市況悪化の影響を受け低調でした。
- ② メディカルは、歯科材料において、感染蔓延により休業する歯科医が増えた結果、特に欧米において苦戦しました。
- ③ カルゴン・カーボンは、コロナ禍においても生活を支える製品として、底堅く推移し、炭素材料も高付加価値品の販売が拡大しました。なお、高機能活性炭の需要拡大に合わせ当第2四半期にCalgon Carbon Corporation米国既存工場における設備増強を決定しました。

## [繊維]

当セグメントの売上高は28,224百万円(前年同期比14.7%減)、営業利益は1,656百万円(同44.1%減)となりました。

- ① 人工皮革<クラリーノ>は、アジア及び欧州での需要減退に伴い、販売量が減少しました。
- ② 繊維資材は、ビニロンでセメント補強用が低調に推移し、ゴム資材向けも自動車生産台数減少の影響を受けました。
- ③ 生活資材は、<クラフレックス>でマスク用途の販売は増えたものの、コスメティック用途や自動車用途の需要が低迷しました。

## [トレーディング]

繊維関連事業は縫製品販売が堅調に推移しました。一方、樹脂・化成品関連事業は国内及びアジアにおいて需要減の影響を受けました。その結果、売上高は60,037百万円(前年同期比7.3%減)、営業利益は2,078百万円(同1.2%増)となりました。

## [その他]

その他事業は、国内関連会社の販売が低調であったことにより、売上高は22,155百万円(前年同期比14.9%減)、営業利益は206百万円(同44.0%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

総資産は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に対応するため、手元流動性を増額したことによる現金及び預金の増加117,450百万円、受取手形及び売掛金の減少10,686百万円及び有価証券の減少15,413百万円等により前連結会計年度末比92,640百万円増の1,083,789百万円となりました。負債は、社債の発行30,000百万円、コマーシャル・ペーパーの増加36,000百万円及び長期借入金の増加79,099百万円等の一方、未払費用の減少30,157百万円等により前連結会計年度末比98,903百万円増の551,507百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末比6,262百万円減少し、532,282百万円となりました。自己資本は517,189百万円となり、自己資本比率は47.7%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延により景気が大幅に後退しており、影響は2021年以降も続く想定しています。第3四半期以降の当社事業においても、需要の低迷が継続し、それに伴う生産調整を予定しています。

2020年12月期通期(2020年1月1日～2020年12月31日)の連結業績予想を次のとおりといたします。

2020年12月期 通期連結業績予想数値の修正

(2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想(B)	510,000	33,000	29,000	13,000	37.80
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(参考)前年実績 (2019年12月期)	575,807	54,173	48,271	△1,956	△5.66

注：上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	72,014	189,464
受取手形及び売掛金	121,166	110,479
有価証券	33,341	17,927
商品及び製品	101,628	99,639
仕掛品	15,679	14,833
原材料及び貯蔵品	34,696	35,528
その他	16,661	20,261
貸倒引当金	△455	△371
流動資産合計	394,732	487,762
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	79,629	82,502
機械装置及び運搬具（純額）	205,974	204,108
土地	22,062	22,114
建設仮勘定	82,071	89,531
その他（純額）	25,055	24,760
有形固定資産合計	414,793	423,016
無形固定資産		
のれん	61,357	58,414
顧客関係資産	33,062	31,208
その他	35,514	33,829
無形固定資産合計	129,934	123,452
投資その他の資産		
投資有価証券	28,770	25,609
長期貸付金	189	165
退職給付に係る資産	1,977	2,090
繰延税金資産	13,506	14,551
その他	7,272	7,168
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	51,688	49,557
固定資産合計	596,416	596,026
資産合計	991,149	1,083,789

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,883	31,701
短期借入金	34,864	35,197
コマーシャル・ペーパー	24,000	60,000
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払費用	50,491	20,334
未払法人税等	4,307	5,695
賞与引当金	6,578	5,300
その他の引当金	226	232
その他	41,317	33,707
流動負債合計	201,670	202,170
固定負債		
社債	50,000	70,000
長期借入金	128,001	207,101
繰延税金負債	13,743	13,365
役員退職慰労引当金	347	354
環境対策引当金	3,692	3,526
退職給付に係る負債	22,203	23,075
資産除去債務	4,671	4,524
その他	28,273	27,389
固定負債合計	250,933	349,336
負債合計	452,604	551,507
純資産の部		
株主資本		
資本金	88,955	88,955
資本剰余金	87,197	87,178
利益剰余金	348,289	349,863
自己株式	△16,286	△16,005
株主資本合計	508,156	509,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,922	5,908
繰延ヘッジ損益	△263	△380
為替換算調整勘定	14,575	6,578
退職給付に係る調整累計額	△5,238	△4,909
その他の包括利益累計額合計	16,995	7,197
新株予約権	663	328
非支配株主持分	12,729	14,765
純資産合計	538,545	532,282
負債純資産合計	991,149	1,083,789

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高	287,419	262,006
売上原価	195,784	182,449
売上総利益	91,634	79,557
販売費及び一般管理費		
販売費	16,824	15,457
一般管理費	46,888	44,488
販売費及び一般管理費合計	63,713	59,946
営業利益	27,921	19,611
営業外収益		
受取利息	166	156
受取配当金	331	325
持分法による投資利益	128	58
その他	424	598
営業外収益合計	1,050	1,138
営業外費用		
支払利息	726	651
為替差損	1,362	194
その他	2,197	2,265
営業外費用合計	4,286	3,111
経常利益	24,685	17,638
特別利益		
受取保険金	337	393
新株予約権戻入益	—	285
投資有価証券売却益	1,568	—
特別利益合計	1,906	679
特別損失		
訴訟関連損失	706	2,422
操業休止関連費用	516	2,122
固定資産廃棄損	1,016	508
減損損失	3,387	—
災害損失	624	—
特別損失合計	6,252	5,053
税金等調整前四半期純利益	20,339	13,264
法人税、住民税及び事業税	7,731	5,478
法人税等調整額	△1,190	△1,796
法人税等合計	6,541	3,681
四半期純利益	13,797	9,582
非支配株主に帰属する四半期純利益	543	422
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,254	9,160

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	13,797	9,582
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,402	△2,014
繰延ヘッジ損益	63	△275
為替換算調整勘定	△11,125	△8,127
退職給付に係る調整額	△76	329
その他の包括利益合計	△12,540	△10,087
四半期包括利益	1,256	△504
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	653	△637
非支配株主に係る四半期包括利益	603	132

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	20,339	13,264
減価償却費	28,440	31,026
為替差損益(△は益)	537	275
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,568	—
訴訟関連損失	706	2,422
減損損失	3,387	—
固定資産廃棄損	1,016	508
売上債権の増減額(△は増加)	3,946	9,712
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,190	378
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,449	△7,911
その他	2,327	△2,263
小計	45,495	47,414
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△7,434	△4,269
訴訟関連損失の支払額	△706	△31,303
その他	86	252
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,440	12,093
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	△907	△2,360
有価証券の純増減額(△は増加)	△7,728	3,625
有形及び無形固定資産の取得による支出	△40,793	△46,937
投資有価証券の取得による支出	△361	△85
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,208	156
その他	△1,880	△1,372
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,463	△46,973
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	567	340
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	24,000	36,000
長期借入れによる収入	2,094	79,261
長期借入金の返済による支出	△11,033	△16
社債の発行による収入	—	30,000
配当金の支払額	△7,671	△7,562
非支配株主からの払込みによる収入	—	2,211
その他	△4,481	△1,153
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,474	139,081
現金及び現金同等物に係る換算差額	△702	△1,150
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,250	103,050
現金及び現金同等物の期首残高	71,345	75,967
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1	228
現金及び現金同等物の四半期末残高	62,095	179,246

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## I. 前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ビニリア セテート	イソプ レン	機能材料	繊維	トレーデ ィング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	113,522	15,146	53,068	25,189	63,438	270,365	17,054	287,419	—	287,419
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	21,225	12,287	9,489	7,881	1,326	52,210	8,986	61,196	△61,196	—
計	134,747	27,433	62,558	33,071	64,765	322,575	26,040	348,615	△61,196	287,419
セグメント利益	23,087	3,449	2,213	2,963	2,053	33,767	369	34,136	△6,214	27,921

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アクア事業、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△6,214百万円には、セグメント間取引消去776百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△6,991百万円を含んでいます。全社費用の主なもの、提出会社の基礎研究費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ビニリアセテート」セグメントにおいて、減損損失を計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては3,387百万円です。

## II. 当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ビニリア セテート	イソプ レン	機能材料	繊維	トレーデ ィング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	102,466	13,387	50,466	21,299	58,593	246,212	15,793	262,006	—	262,006
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	19,343	11,333	8,677	6,925	1,444	47,723	6,362	54,085	△54,085	—
計	121,809	24,720	59,143	28,224	60,037	293,936	22,155	316,091	△54,085	262,006
セグメント利益	16,924	2,116	1,054	1,656	2,078	23,829	206	24,036	△4,425	19,611

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アクア事業、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△4,425百万円には、セグメント間取引消去1,044百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△5,470百万円を含んでいます。全社費用の主なもの、提出会社の基礎研究費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。